

あしや子ども風土記 歴史さんぽ

最終回

14

六甲山ができたころ

高さが一kmの六甲山には、さまざまな植物や生きもの、珍しい形の岩や、山の上からの見晴らしなど、美しい自然の姿が身近にあり、多くの人々に親しまれています。

六甲山は、いつごろどのようにしてできたのでしょうか。花こう岩からできている六甲山地は今からおよそ五十年前に、海面から高く盛り上がり、今のようになりまし。五十年前といえは地球の歴史では新しい山といえます。百万年ほど前に、だんだん高くなる時、反対に沈んでいったのが大阪湾です。



海岸からみた六甲山(大正時代)

また、盛り上がる時に六甲山には、陸地や岩に割れ目が

★参考文献 『新修芦屋市史本編』 芦屋市・『六甲山はどうしてできたか』 神戸市立教育研究所

芦屋という地名

昔の芦屋の風景
明治中期(旧三条村かじ)

もともと芦屋という地名は、海辺や河口などの低湿地にある「芦原・葦原」を意味し、地形に大関係の深い地名です。

また、芦屋の地名の起源は、万葉集や伊勢物語、新古今和歌集などの物語や歌集に述べられて通り、大変古いものですが、その地域は、必ずしも、現在の芦屋を指すものではないようです。



昔の芦屋の風景
明治中期(旧三条村かじ)

土中からのメッセージ

芦屋考古学再発見 47

牛・ウシ・丑の考古学

―元旦へのメッセージ―

問い合わせ 生涯学習課 ☎9066



今年(丑)は、年頭にふさわしい牛にちなんだお話を届けたい。有名な魏志倭人伝では、牛馬なしと日本列島にその不在を伝えていますが、弥生時代最末期に大陸から渡ってきたことが考えられます。あの巨大な前方後円墳の築造に牛がもつ労働力を想像できるからです。もちろん食肉のための役割も、古代における牛飼部と呼ばれる部民の存在や七世紀の天武天皇の出した肉食禁止令からうかがわれることですが、以降では荷車や水田耕作に盛んに使役されたものと思えます。市内の遺跡では、古代・中世に大原遺跡や久保遺跡、津知遺跡、若宮遺跡などの水田面が数多く、ウシの足跡がみつかっています。唐鋤牽引など農耕に伴う蓄力の有効利用です。

南北朝時代、若宮遺跡では宮川の川

つまり、六甲山地の南側、海に面した低湿地のすべてを「芦屋の里」と呼んでいたようで、それがいつしか芦屋川河口の狭い地域だけの呼び名に変わりました。途中、地域の呼び名はいろいろと変わりましたが、地元の人々に、もともとの意味が深く、歴史的にも古い意味あ

べりで、大量の牛骨片を見出し、加工の跡をよくとどめており、骨格を解体し、骨細工を行った様子を示していました。

イスラム教徒は、豚を食べません。ヒンズー教徒が牛を食べないこともよく知られています。

日本の場合は仏教思想の影響もあり、肉食を禁忌としつつも、役畜として多様な利用が進みました。

近代に入ってから、牛の骨は皆さんが愛用している歯ブラシの柄に普遍的に使われています。歯を磨く風習は、平安時代ごろから官僚・僧侶・神官・貴族などに広まりました。当時は楊枝や塩が用いられ、市中の民が使ったものになったのは江戸時代になってからのこととです。西洋歯ブラシとして日本に現われたのは明治五年(一八七二)のこと



呉川遺跡出土の牛骨製歯ブラシ

昔の芦屋の風景(山芦屋から)



呼んでいたようで、それがいつしか芦屋川河口の狭い地域だけの呼び名に変わりました。途中、地域の呼び名はいろいろと変わりましたが、地元の人々に、もともとの意味が深く、歴史的にも古い意味あ

打出という地名

打出は、昔から交通の盛んな所でした。例えば京都から伊丹を通る西国街道は、打出に来て初めて海辺に打ち出します。つまり、ここで海を目的に打ち出るので、潮の香りや漁師さんの舟を見た人たちは、強く心に残るものがあつたことでしょう。こうして打出の地名は有名になつていったと思われ

これは皆さんがよく知っている「打出の小槌」のお話ですが、打出の地名はこの伝説から名付けられたという説もあり、現在も打出小槌町の名があります。

★参考文献 『兵庫の街道』 神戸新聞社『芦屋市史 本編』 芦屋市・『あしや子ども風土記伝説・物語』 芦屋市教育委員会・芦屋市文化復興財団



空からみた宮川

また、打出の村にはむかし、お金持ちの長者が住んでいて、小さな榎を持っており、その小榎は打ち振るとなんでも願ひ事が叶うといわれる宝物でした。

●平成五年に発行した「あしや子ども風土記 歴史さんぽ」を紹介しています。ここでは、発行当時の原文に近い状態で引用しています。



「歴史さんぽ」は今回で最終回となりました。次回より、「あしや子ども風土記 伝記・物語」を連載します。

<お詫びと訂正>

平成20年12月15日号2面見出し『本市で2カ所目「国の登録有形文化財」に登録』の記事の中で、1カ所目は三条町中山家住宅の間違いでした。お詫びして訂正します。

ご入学おめでとう・新1年生のつどい

■日時 2月7日(土)午後1時30分～4時 ■会場 西宮市民会館アミティホール
■内容 交通安全のお話など ■対象 新1年生と保護者500組・1,000人
■申し込み はがきに住所・氏名・幼稚園(保育所)名・保護者名・電話番号を記入し、1月29日(木)<必着>で、神戸新聞社広告局企画開発部 へご入学おめでとう大会・西宮会場(〒650-8571 住所不要)へ
問い合わせ 神戸新聞社広告局企画開発部 ☎078-362-7077

金婚夫婦祝福式典

■日時 5月10日(日)午後1時～ ■会場 西宮市民会館アミティホール ■対象 昭和35年に婚姻届を出されたご夫婦 ■申し込み 所定の申込書(高年福祉課・神戸新聞阪神総局・同販売所で配布)に記入し、2月27日(金)<必着>で神戸新聞社地域活動局 へご入学おめでとう大会・西宮会場(〒650-8571 住所不要)へ
問い合わせ 神戸新聞社地域活動局 ☎078-362-7052

サラ金・クレジット問題でお悩みの方、完済された方

広告

- ◎債務整理の方法は自己破産ではありません。
- ◎「任意整理」という方法は、取引が一般に7年以上あれば、借金がかかり減額できる可能性があり、場合によってはお金が戻ってくる可能性があります。(過払金)
- ◎完済されている方でも過払金が生じていることがありますので、完済から10年たっていない方はぜひご相談下さい。

費用分割可

認定司法書士に債務整理を委任すると、業者から本人への取立は止まりますのでご安心下さい。

甲東園法務司法書士事務所

完全電話予約制 ☎0798-54-3259 ■電話受付時間：平日9時～18時
阪急今津線甲東園駅徒歩2分 / コインパーキング(有料)が近くにあります。

●「広報あしや」バックナンバーは、市ホームページ『広報あしや ON LINE』でご覧いただけます。